

# 第1回 火力発電講演会 お知らせ ～エネルギーの未来をあなたとつくる～

一般社団法人日本電機工業会では、火力発電業界の広報活動の一環として、講演会を開催いたします。

火力発電は、現在そして未来にも、電力の安定供給を支える不可欠な電源です。その火力発電の最新技術と環境対応の取り組みを、火力発電機器メーカー 6 社の若手エンジニアにより、体験談と共に発表します。

また、一般社団法人 火力原子力発電技術協会による基調講演「これからの火力発電の役割と価値」、およびJEMA火力発電委員長による「火力発電を取り巻く動向」の講演を行います。

火力発電の将来を担う学生の皆様や火力発電ご関係者、そしてエネルギー分野にご関心のある皆様のご参加を心よりお待ちしております。

参考リンク [火力発電とは\(https://www.jema-net.or.jp/energy/thermal.html\)](https://www.jema-net.or.jp/energy/thermal.html)

## 開催概要

■ 日時 2026年2月17日（火） 14:00～16:40 開場 13:00

■ 会場 対面（JEMA会議室）及び オンライン（Microsoft Teams）

〔対面参加〕 東京都千代田区一番町17-4 電機工業会館 6階会議室

アクセス <https://www.jema-net.or.jp/about/access/index.html>

※参加用URLは、2026年2月10日（火）を目途にご連絡します。

■ 参加費 無料

■ 申込方法 JEMAウェブサイトよりお申し込みください。

URL <https://www.jema-net.or.jp/about/seminar/20260217.html>

会場入場者（先着50名）および接続人数に制限があり、ご希望に添えない場合もあります。

お申込フォーム QRコード



対面ご参加用



オンラインご参加用

■ 申込締切 2026年2月16日（月）

■ 講演プログラム 詳細は裏面

◆ 開会挨拶： 一般社団法人 日本電機工業会 電力・エネルギー部長 伊藤 健司

◆ 基調講演：「これからの火力発電の役割と価値」

一般社団法人 火力原子力発電技術協会 事務局長 小川 貴則様

◆ 全体動向：「火力発電を取り巻く動向」

一般社団法人 日本電機工業会 火力発電委員会 委員長 (株)IHI 花谷 篤宏

◆ 一般講演：

1. 「燃料アンモニアの社会実装に向けた挑戦」 (株)IHI 伊藤 理究様

2. 「カーボンニュートラル社会及び電力の安定供給を目指すガスタービンの紹介と  
水素焚きガスタービンの取り組み」 三菱重工業(株) 永井 初様

3. 「カーボンニュートラル時代の火力発電を補完する二酸化炭素分離回収および蓄熱システム」

東芝エネルギーシステムズ(株) 松崎 晃大様、藤田 拳人様

4. 「カーボンニュートラル実現を目指すガスタービンコージェネの取り組み」

川崎重工業(株) 有信 潤哉様

5. 「海外地熱発電建設プロジェクトの事例紹介」

富士電機(株) 大谷 尚史様

6. 「発電プラント計装制御システムの紹介」

三菱電機(株) 今野 翔揮様

◆ 閉会挨拶： 一般社団法人 日本電機工業会 火力発電委員会 委員長 (株)IHI 花谷 篤宏

主催：一般社団法人 日本電機工業会（JEMA） 火力発電委員会

～火力発電委員会は、火力発電機器メーカーで構成しています～



TOSHIBA

Kawasaki



富士電機



mitsubishi  
ELECTRIC

（備考）後日JEMA YouTubeチャンネルにアップロード予定です。複数人数で聴講される場合も、個別にお申込みをお願いいたします。

問い合わせ先：一般社団法人 日本電機工業会 電力・エネルギー部 成瀬、松山、大黒

[jema\\_denene\\_info@jema-net.or.jp](mailto:jema_denene_info@jema-net.or.jp)

# 第1回火力発電講演会 プログラム

## ～エネルギーの未来をあなたとつくる～

2026年2月17日（火） 14:00～16:40

14:00  
開会挨拶

14:05  
基調講演

14:40  
全体動向

15:00  
一般講演  
Part 1

15:50  
一般講演  
Part 2

16:35  
閉会挨拶  
16:40  
終了予定

一般社団法人 日本電機工業会 電力・エネルギー部長 伊藤 健司

### 「これからの火力発電の役割と価値」

一般社団法人 火力原子力発電技術協会 事務局長 小川 貴則様

火力発電は電力の供給力、調整力、慣性力、同期化力を有し、再生可能エネルギー拡大時にも重要な役割を持つ。  
カーボンニュートラル実現に向けて、これからの火力発電の役割と価値は何か、期待されることを明らかにしたい。

### 「火力発電を取り巻く動向」

一般社団法人 日本電機工業会 火力発電委員会 委員長 (株)IHI 花谷 篤宏

安全前提の元、電力安定供給、経済性、環境性のバランスが求められる中で、火力発電はエネルギーの未来を支える電源の一つとして期待されている。ここでは、火力発電を取り巻く世界や日本での動向について述べる。

#### 1. 「燃料アンモニアの社会実装に向けた挑戦」

(株)IHI ライフサイクルマネジメント部 伊藤 理究様

アンモニア利用・  
石炭混焼

地球温暖化対策として、二酸化炭素を排出しない次世代燃料の水素とアンモニアが注目されており、特にアンモニアは輸送・貯蔵が容易なため期待されている。本講演では、火力発電設備におけるアンモニア利用の取り組みや世界初となる実機実証試験の結果、今後の展望について紹介する。

#### 2. 「カーボンニュートラル社会及び電力の安定供給を目指すガスタービンの紹介と

##### 水素焚きガスタービンの取り組み」

三菱重工業(株) ガスタービン技術部 永井 初様

大型GT・水素・  
LNG混焼

近年、電力需要は高まっており、市場のニーズとして電力の安定供給や脱炭素化の動きが高まっている。  
カーボンニュートラル社会の実現及び電力の安定供給を目指す当社ガスタービンの取り組みと、CO<sub>2</sub>排出ゼロを目標とする水素焚きガスタービンの開発動向について紹介する。

#### 3. 「カーボンニュートラル時代の火力発電を補完する二酸化炭素分離回収および蓄熱システム」

東芝エネルギーシステムズ(株) 新規事業開発部 松崎 晃大様

CO<sub>2</sub>分離回収システム計画・開発部 藤田 拳人様

CCUS・岩石蓄熱・  
エネルギーマネジメント

火力発電の燃料転換完了までは、現有火力発電設備からの二酸化炭素分離回収・活用（CCUS）および化石燃料由来の熱エネルギーを無駄なく利用することも重要である。本講演ではCCUSの仕組み・実用例・今後の展望を、蓄熱システムについては岩石を蓄熱媒体としたデジタル技術を活用したエネルギーマネジメントの開発状況について紹介する。

#### 4. 「カーボンニュートラル実現を目指すガスタービンコージェネの取り組み」

川崎重工業(株) 常用ガスタービン発電部 有信 潤哉様

中小型GT・水素・  
コージェネ

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて様々な企業が工場から排出されるCO<sub>2</sub>の削減に取り組んでおり、その中でもCO<sub>2</sub>を排出しない水素燃料によるコージェネレーションシステムが注目されている。  
本講演ではCO<sub>2</sub>フリー社会実現に向けて「つくる・はこぶ/ためる・つかう」に取り組む当社の活動を紹介する。

#### 5. 「海外地熱発電建設プロジェクトの事例紹介」

富士電機(株) 火力・地熱プラント技術部 大谷 尚史様

地熱・再エネ・  
国際貢献

世界的なカーボンニュートラルの潮流の中、再生可能エネルギーの需要が急速に拡大している。  
中でも、地熱発電は、天候・昼夜を問わず安定した発電が可能な発電方式として期待されており、世界の設備容量は年々増加傾向にある。本講演では、当社が海外に設備納入した地熱発電建設プロジェクトについてその事例を紹介する。

#### 6. 「発電プラント計装制御システムの紹介」

三菱電機(株) 電力制御システム部 今野 翔揮様

監視計装制御・IoT

化学工場や発電設備など、プラント運営について近年、業務効率化や人員削減の観点から計装制御システムの需要が高まってきている。計装制御システムの1つとして、当社が取り組んでいる「MELSEP5G」と呼ばれるDCSについて紹介する。

一般社団法人 日本電機工業会 火力発電委員会 委員長 (株)IHI 花谷 篤宏